

IRC Congress 2017 レポート

日本 IRC オーナーズ協会

会長 平井 昭光

2017 年 10 月 7 日に、フランスの Saint Malo にある Hotel Chateaubriand の会議室にて、IRC Congress 2017 が開催されたので、以下の通り、当日行われた議論の概要をご報告いたします。

9:30-15:30 Congress

今年から Mr. Jason Smithwick が Technical Director になった。World Sailing で働いていたところ IRC の方へ移ったということで、WS との連携も期待できる。流体力学で博士号を有する新進気鋭のセーラー。

会議冒頭、Chairman である Mr. Peter Wykeham-Martin から挨拶があり、明るい雰囲気です。会議が始まった。

1. 各国からの報告

• Belgium

2つの組織が一つになった。また、悲慘なレース事故がありセーラーが無くなった。それ以外はほとんど問題なし。

• Bulgaria

IRC 証書の発行数が 100 まで増加した。

• Canada

洪水があり、大変苦しんでいる。マリーナ施設も大きな影響を受けた。なお、個人的に話を聞いたところでは、J24 World Cup は微風ながら成功裏に終わったとのことでした。

• France

Jean-Claude によれば、Mediterranean, Atlantic, Channel と 3つのエリアでレースが盛んにおこなわれているとのこと。上下のレースに人気がある。また、プロフェッショナル・クルーも活躍している。IRC は高いレベルのレースにおいて主に使用され、ローカルレーティング（オージリー・システム）がアマチュアレベルのレースにおいて好まれている。

• Honk Kong

Gideon 氏によれば、大きな動きはないとのことだった。

• Japan

角氏から提出済みの報告書に基づいて発表。加えて、平井から、レーティングオフィ

スがクラス分けを推奨していることが、ジャパンカップで近々実現するかもしれない事について言及した。さらに、日本ではクラブレース、オープンレース等のイベントが盛んで、そこではローカルなレーティングが使用されている。この点はイギリスの状況とよく似ているが、今後、IRC の普及のために努力したい旨発表した。

- Malta

Day racing は盛んだが、上下のレースはそうでもない。盛んにしたい。

- GBR

15 マイルくらいのショートディスタンスの推奨を行っている。

- Netherlands

IRC 証書の発行数が少し減少している。チャンピオンシップに関与している。

- Turkey

安定しており、新しい登録艇が 22 艇増加した。ORC を使用している船は多くはない。

- USA

証書の発行数は 12%ほど増加している。IRC, ORC, ORR があるが、いずれも推奨せず、公平に取り扱っている。ORR がマジョリティではある。Dual scoring point は使用せず、Block Island Race は IRC のみで行っている。

- UK

新しい価値を付加して、IRC のブランド力を向上させることが大事。レガッタの数は減少している。Jason 氏は、各国の National Authority が IRC を推奨することも考えて良いのではないかと、との意見を述べた。

- IMA (UK)

レースではなく、パレードのようなイベントが盛んに行われている。複雑さによって事態が分断されている傾向がある。IRC 自体は機能していると考えられる。地中海でも Middle Sea Race などレースが盛んに行われているが、First plus 40 boat のレーティングが非常に魅力的などの課題もある。Jason 氏は、レーティング・システムを最適化する、と回答した。

2. Policy Steering Group からの報告

Michael Boyd 氏：クルーナンバーを少なくして証書を発行する件については、調査中である。Code 0 の件については、とても複雑であり、現在調査中である。どのようにこの問題に回答していくかは課題であり、時間を掛けて検討したい。World Championship に関しては、IRC と ORC は 8 つの契約書を取り交わした。Commodore's Cup は Cows にて開催予定であり、Island Race も France, Ireland, Belgium 等の参加が予定されている。

Jean-Phillip 氏：IRC と ORC の間で合意ができたことは良かった。イタリアでは証書の発行数が減少しており、ほとんどが ORC という状況になっている。

3. Annual Report to IRC (Jason)

IRC 証書の発行数は、2016 から 2017 に掛けて変わりはない (約 5,300)。そのうち、Endorsed が 50% で、47% だったのが増加した。その理由は不明。

MyIRC の状況については、各国の National Authority が使用できる状況になってきている。

IRC European Championship は成功裡に終わった。

4. Technical Committee から

ルールの変更については、クルーナンバー問題は協議中なので削除した。継続協議する。Code 0 の件は大変ホットな論点となっている。Holding luff type の Code 0 についても検討している。

5. Rule Authorities から

クルーナンバーについては、調査中である。Ireland にて何らかの試行を行っているようだが詳細は分からない。その内容はレース・オーガナイザーに任されている。人数を 100%, 75%, 50% とするか、No spinnaker の件もある。本件は大きなポリシー変更となる。

減少した場合に、女性の場合はどうするか、などの論点もある。女性には体重も少なく非力なので、どのように考慮するか今後の検討が必要。

6. Rule Changes for 2018

- ・ 条文の変更 : 21.5, 21.5.1, 21.5.2
- ・ Dayboats: 定義規定の修正。IRC としては、OSR に言及すべきではないとの判断。
- ・ Short handed race の字句について“may”を“shall”へ修正
- ・ Blue batten: No longer than 1m or 25% of foot length に変更。
- ・ Hull factor: Rig Factor についても同様に calculated に変更
- ・ Advertising Code: 修正
- ・ ERS については、言及が必要なくなったので削除
- ・ Foil chord and span definitions: Lifting foils についての定義規定を挿入した。
- ・ From Association of French Owners: レーサー、レーサー・クルーザー、クルーザーの定義を明確にすべきと提案。議論を継続することとした。IRC としては過去に一度議論の上結論を出したことがあるとのこと。
- ・ From Belgium: Rule 17.1.4 berth cushion なしの計測を許容している。クッションなしのレースを認めるように見える。明確になるように修正する。

Lunch:

Jean-Phillippe Cau (French Federation and CNSF) 及び Godwin Zammit (a commodore of Royal Malta Yacht Club)らと意見交換

7. IRC marketing

(Bernard Nivelt)

デザイナーの観点から言うと、レースで勝てるボートを作ると醜いボートになることがある。あるいは、あるリミットの中で、早いボートを作る。デザイナーには2つの選択肢がある。

IRC はボートデザインにフレキシビリティがある。高い素材を使わなくても、どの船にも勝つチャンスがある。Class 40 が良い例。ファストネットでも勝つチャンスがある。

Mel (UK):

イベントに魅力がある必要がある。よって、Marketing も大事。

海に出ていけない訳にはいけないという理由に、excuse を与えることが大事。

プロダクションボートが多い。ワンオフはコストが掛る。そういうボートをたくさん集める努力が必要ではないか。

Yvonne:

Netherlands では、Dual Scoring が人気がある。Yvonne は Marketing の経験があるので、2018 The Hague Offshore Sailing World Championship を成功させたい。

IRC & ORC World Championship は、2年に1回の予定だが、まだ議論しているところ。

Olympic 2020 Showcase Event が20隻の船で、mix double handed として行われる。2024に向けて大事なイベントとなる。

8. その他

(料金変更)

これまでは18mを境に料金を分けていたが、今後は0-11.5m 11.5-18m, above 18mの3つに変更する予定。これは、小さなボートをレーティング取得へ誘引するため。

(Code 0)

SMG が SF の 75%以上ならスピネーカーとなり、以下ならジェノアとなる。

2018 はルールを変えないが、2019-2020 では、変えるかもしれない。現在検討中。

急にルールを変更して、急に何らかの罰則を与えるようなことはしない。オーナーの目線を大事に考えている。

18:30-Dinner at RYC

John Crawley (CANADA), Turkey 氏と意見交換。

以上